

題名 「海女美依天使」

技法 エッチング、アクアチント、手彩色（パステル）

サイズ 190×110mm

この娘は普段、どんな暮らしをしているのだろう。

珊瑚に腰掛けて魚とお話ししていたり、あぶくをたくさん出す練習をしていたり、ゆっくり寝て、食べて、子どもらしく気ままに過ごしているはず。

キラキラした海の底が好きなのだ。

けれど、最近はいそがしそう。

海の底から、私たちに向かって光を届けてくれている。

アマビエの心が人々に届きますようにと祈っている。

けなげな、やさしい、アマビエ天使ちゃん、ありがとう。

#### 略歴

1959 大阪府堺市生まれ

1982 大阪芸術大学美術学科卒業

個展、ギャルリプチボワ(大阪)を中心に各地で開催

ギャラリー東京ユマニテ(東京)／JR大阪セルビスギャラリー(大阪)／あいらんどハウス田尻町歴史館(大阪)／サンシャインホール(淡路島)／文芸春秋画廊(東京)／栄光舎(鳥取)／MHS田中ギャラリー(名古屋)みさき画廊(大分)／堺市立文化館ギャラリー(大阪)／阪急うめだ本店美術画廊(大阪) 他

グループ展、最近では、版画と本のコラボレーション展として、2017 プチボワ文庫展(ギャルリプチボワ・大阪)／冬の図書館展(ギャラリーFURO・東京)／2018 秋の図書館(岩崎ミュージアムギャラリー・横浜)などがある

#### 作品集

画集 「鱧の痕跡」1993(ギャラリーインターフォーム「柔らかな春の海」2007(遊タイム出版)

版画集 「小さな森Ⅰ/BOIS」4点セット1999,「小さな森Ⅱ/day dream」3点セット2001,「小さな森Ⅲ/九ツの扉」9点セット2004,「小さな森Ⅳ/蒼い森」4点セット2005,「小さな森Ⅴ/花のわたし」4点セット2006(すべてギャルリプチボワ)

創作絵本「こどもほじょりん製作所」2011(講談社)

絵本 「まめじかカンチルの冒険」2013(福音館) 「しろつめくさあかつめくさ」2017(福音館) 「ミツバチだいすき」2019(福音館書店)

装画 『69 sixty Nine』村上龍/集英社,『すべての男は消耗品である』村上龍/KK ベストセラーズ,『風車祭』池上永一/文芸春秋,『オカメインコに雨坊主』芦原すなお/文芸春秋,『諸国物語』,『百年小説』,『百年文庫』/ポプラ社,『父を葬る』高山文彦/幻戯書房,『小説一途ふたりの「源氏物語」』瀬戸内寂聴、田辺聖子/角川学芸出版/『すべての男は消耗品である最終巻』村上龍/幻冬舎 他